

2026年3月9日  
なかのアセットマネジメント株式会社

## 長期投資家の皆さまへ（26年3月9日臨時号）

本日の国内株式市場は幅広い銘柄が売られる展開となりました。

背景には、イスラエルによるテヘランの燃料施設への攻撃と、それに対するイランの報復という中東情勢の深刻化があります。原油先物は1バレル100ドルを突破し、市場は「主要な石油インフラが壊滅し、エネルギー高騰が数年単位で長期化する」というテールリスクを警戒するなど、パニック的な反応を見せています。

本日の相場急落時において、当ファンドのポートフォリオ全体の内訳を見ますと、強固な事業基盤を持つ銘柄群が底堅い動きを示しています。具体的には、外部環境の変化に強く国内需要に根差したコスモス薬品や神戸物産といった銘柄が小幅上昇となり、ポートフォリオ全体の下落を一定程度抑制する要因となりました。

一方で、このようなパニック的な下落局面においては、ファンダメンタルズに関わらず無差別に売られる傾向があります。当ファンドではこの局面を好機と捉え、手元資金を活用し、過度に売られたと判断される優良な保有銘柄を中心に組入比率の調整を行ってまいります。実際に、業績・株価ともに好調に推移し、市場からの高い評価を集めていた扶桑化学工業や村田製作所などの企業群におきましても本日は大きく値を下げましたが、競争優位性や健全な財務状況が毀損したわけではありません。中長期的な観点からは、むしろ魅力的な投資機会となり得る水準まで株価が調整したと判断しています。

私たちは、市場の動向を冷静に分析し、長期的な視点での投資判断を行っています。歴史が証明するように、過度な恐怖による相場の乖離は長くは続きません。かつてのウクライナ情勢がそうであったように、衝撃的なイベント直後は消費マインドが冷え込みますが、時間の経過とともに経済の需給バランスは適正な水準へと回帰する傾向にあります。

長期投資において、こうした急落局面は「将来の利益を安く仕込む最大のチャンス」です。当ファンドをご保有いただいているお客様にとって、このような市場の激しい変動はご心配の種かもしれません。しかし、株価が下がっている時期こそ、同じ投資額でより多くの口数を購入できる積立投資においては、将来の反発局面では、より大きな力となると考えています。目先のノイズに惑わされず、航路を守り、淡々と積み立てを継続することが、長期的な資産形成を成功させる要諦です。どうか引き続き安心してファンドの保有を継続していただければ幸いです。共にこの局面を乗り越えていきましょう。

運用部長兼チーフポートフォリオマネジャー 山本 潤

**【ご留意事項】**

この資料は情報提供を目的として、なかのアセットマネジメント株式会社によって作成されたものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。

また、投資信託は銘柄ごとに設定された信託報酬等の費用がかかります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

**【投資信託に関するリスクについて】****基準価額の変動要因**なかの日本成長ファンド

・ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。主な基準価額の変動要因は「価格変動リスク」「信用リスク」「流動性リスク」「集中投資リスク」などがあります。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

・信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆さまに帰属します。

なかの世界成長ファンド

・ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。主な基準価額の変動要因は「価格変動リスク」「信用リスク」「為替変動リスク」「カントリーリスク」「流動性リスク」などがあります。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

・信託財産に生じた利益及び損失は全て投資者の皆さまに帰属します。

**投資信託に関する費用について****投資者が直接的に負担する費用**なかの日本成長ファンド

- ・購入時手数料：ありません
- ・信託財産留保額：ありません

なかの世界成長ファンド

- ・購入時手数料：ありません
- ・信託財産留保額：ありません

**投資者が信託財産で間接的に負担する費用**

- ・運用管理費用(信託報酬)：

なかの日本成長ファンド

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して年率 1.1%(税抜き 1.0%)を乗じて得た額とします。

運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の 6 ヶ月終了日及び毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

なかの世界成長ファンド

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に対して、年率 0.605%(税抜 0.55%)を乗じて得た額とします。

運用管理費用は、日々計上され、毎計算期間の最初の 6 ヶ月終了日及び毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。

当該信託報酬も間接的にお客さまにご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年率 1.3%±0.2%程度(税込)となります。

商号：なかのアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 3406 号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会